



平成13年6月25日発行

ボランティア国際年



2001

2001年は ボランティア国際年です

協賛事業を募集しています。くわしくは次ページをご覧ください。



ボランティア国際年の
マスコットキャラクターです。



三重県内各地で次々に生まれつつある
市民活動支援センターや地域の市民活動ネットワークを紹介するコーナーです。

市民活動ネットワーク平成の町割会 **桑名市**

浮世絵風の帆かけ船が目印

桑名駅をJR側におりて、商店がならんでいる八間通りを、七里の渡しの方にお店をひやかしながら歩いてください。国道一号線を越えてそのまま進み、霧囲気のあるお寿司屋さんの角を左にまがります。とてもおいしい料理屋「大蔵」さんで道草せずに200メートルほどまっすぐ行くと、通り沿いの右手に、2階建てのちよつとしゃれたつくりの建家があります。なにやら浮世絵風の帆かけ船を描いた看板がかかっていますからすぐわかります。看板の金星堂さんの旧社屋はどこです?と聞くとすぐ教えてもらえます。

ようこそ「市民活動センターわたし」においでくださいました。この2階が、桑名・員弁の「市民活動ネットワーク平成の町割会」の事務局です。ささ、遠慮なくどうぞ。ちょっと急な階段ですが、手すりをしっかりとぎってあがってもらえば怖くありません。怖いのはそこにいる郷司時計店の主、郷司さんです。人をそらさないにこやかな笑顔の奥から、「こいつは誰や?何しにきたんや?危ない奴やないやろな」と、瞬時に判断して対応しております。町割会の常務として、実質的に会をきり取りしているお方です。桑名には毎年10月に10万人も集まる「桑名の殿様御在所祭」という手づくりのおまつりが10年も続いています。それを手づくりあげてきたメンバーのひとりです。ホント、いい顔で笑いますよ、郷司さんは。

民設民営の「市民活動わたし」

「市民活動センターわたし」は民設民営ですから、お金はありませんが、こんな人たちがいっぱい集まってきて経営しています。2階は「サロンわたし」と呼んでいて、輪転機やメールボックス、市民活動情報掲示板などをおいてます。で、運営委員がひとり立ち会ってれば、会議室として深夜をすぎても自由に使えるようにしたんです。もちろん自己責任、騒ぐなどしてご近所にご迷惑をかけたならその人があやまりにいきます。けっこう便利なのは、共同貸事務所。電話と郵便のとりつきをします。実行委員会などをつくって事業を行うときの短期利用、立ち上がり時期や小さな団体などで自宅を連絡先にしていただいているようなところでは、安心・安全・便利・格安と四拍子そろった会員サービス、というか、自分たちでそういう便利さを用意したということですね。



会議の様子です。

1階は「プラザわたし」。サロンは主に自分たちの便利さを考えているのですが、プラザは会員以外の人たちが気楽に市民活動の情報な

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981・5982・5983
Fax.059-222-5971
E-mail open@mienpo.net
県NPO担当ホームページ
http://www.mienpo.net/

んかと接することができるように思っています。でも、せっかくだから、情報掲示だけでなく、市民活動サポートグッズを売ったり、レンタルスペースとして市民活動団体に使ってもらったりして、少しはお金が入るようにもしています。ほんとは桑名・員弁の市民活動見本市場的なところになればと思っているのです。でも、なかなかむづかしいですね。訪ねてくれる方がいるだけでよしと思えば…。で、この3月から火曜プラザというのがはじまりました。毎週火曜日の昼間の1、2時間を、いろんな人たちに講師になってもらって、身近な感じでお話してもらったり、講習会を開いてもらったりしています。テーマの幅のひろさが自慢ですね。そこではふつうの人がいままでやってきたことを活かして主役になります。これがいいんですよ、とにかくおもしろい。何かひとつのことをやってきた人ってとても魅力的なんですね。それがとてもよく伝わってくる空間になります。

肩書きをはずし、組織のしほりを離れたメンバーの集まり

市民活動ネットワーク平成の町割会は、市民活動に興味がある人たちや市民活動を行っているひとたち、そんな個人の集まりです。肩書きをはずし、組織のしほりをはなれて、ひとりの人間としてメンバーになります。するとね、不思議なことにすごい力を発揮してしまうんです。自分の責任でものを言ったり活躍したりできるからなんでしょうね。きっと。何か、こう、解き放たれた感じで、とてもいきいきしてくるのです。今では100人を少し越えているでしょうか。男女半々、20代から70代まで、3分の2ほどが桑名・員弁の人たち、あとの3分の1が津から名古屋あたりまでのいろんなまちで活躍している人たちです。80%近い人たちがメールリストにはいって

て、1日10通以上のメールが飛びかっているんです。で、そのメールリストの外側で、小さな会話がいっぱいできていて、いろんなプロジェクトが立ち上がってきます。町割会は「この指とまれ」のプロジェクト方式ですので、やりたいことをみんなに投げる場所なんです。だから気に入ったことがあればちょっと参加したり、企画をみんなに投げてみたりして、自分の思いをまちで形にできるんですね。

月に1回の市民活動定例交流会では、そのようなプロジェクトの提案や、自分たちがやっている活動の案内・報告などを中心に組み立てています。

このようないろんな分野の市民活動の情報のやりとりのなかから、このまちの課題がいろいろ見えてきて、それを解決していく自分たちの取り組みがいっぱいできると思っています。そのような「機能」を果たしていく「しくみ」として市民活動ネットワークを持ってみたんです。だから、メールリストや定例交流会で出てくる情報については、できるだけ多くの人たちの目にとまるよう、ひんぱんにホームページを更新したり、市民活動にゆーずを発行したりしています。こういことが、市民活動を行いやすい環境づくりにもなっていると思っます。詳しいことは、ホームページをみてみてくださいね。

問い合わせ先

市民活動ネットワーク平成の町割会 常務 服部則仁
所在地/511-0006桑名市今北町53
Tel.0594-27-2700
ホームページ <http://www.watashi.gr.jp>

ボランティア国際年

2001年ボランティア国際年 みえ協賛事業募集!

2001年にボランティアに関する事業を計画されている団体のみなさん、ボランティア国際年みえ協賛事業として、みえ推進協議会に登録をお願いできませんか。

2001年1月から12月の間に取り組まれるボランティア事業で「ボランティア国際年」にふさわしいものであればOKです。みえ推進協議会もその事業の情報発信のお手伝いをさせていただきます。事業内容のわかる資料を添えて事務局までご提出ください。

●問い合わせ先/2001年ボランティア国際年みえ推進協議会 514-0009 津市羽所町700 アスト津3F 三重県ボランティアセンター内
Tel.059-229-6634 Fax.059-229-6635
E-mail mvc@miewel.or.jp
ホームページ <http://www.mienpo.net/iyv2001/>

「ボランティア国際年記念シンポジウム」で展示します!

ボランティアに関する 絵画・俳句コンテスト

作品大募集!

内閣府では、「ボランティア国際年」に関する種々の事業を計画しています。そのひとつとして、小中、高校生を対象に「ボランティアに関する絵画・俳句コンテスト」を行います。入賞作品は、全国各地で開催する「ボランティア国際年記念シンポジウム」の会場等で同時開催する「ボランティア国際年作品展」において展示するとともに、内閣府発行の「ボランティア国際年通信」等への掲載を予定しています。「ボランティア」の活動、「ボランティア」のイメージなど、ボランティアへの想いを作品にして送ってください。

●応募要項

『絵画の部 応募規定』…1.ボランティアに関する絵画、2.B4サイズ(25.7cm×36.4cm)の画用紙を使用、3.デッサン、クレヨン画、水彩画、水墨画、油絵等、4.1人2作品以内(組作品不可)

『俳句の部 応募規定』…1.ボランティアに関する俳句/(例)「夏休み友達増えるボランティア」、2.A4サイズ(21.0cm×29.7cm)以下の紙使用、3.1人2句以内、4.応募者の国籍は問わないが、日本語での応募に限る。

- 応募資格/小学生、中学生、高校生。未発表のもの。
- 応募締切/8月23日(木)当日必着
- 応募方法/必要事項を記入した裏面の応募用紙または 1.分野(絵画についてはタイトル) 2.住所 3.氏名(ふりがな) 4.年齢 5.電話番号(FAX番号) 6.学校名 7.学年を明記した紙を同封の上、下記送付先までお送りください。
- 応募先/100-6004 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル内郵便局私書箱89号 内閣府国民生活局市民活動促進課あて(封筒に「ボランティア国際年応募作品」と明記してください)
- 問い合わせ先/内閣府国民生活局市民活動促進課(担当:小嶋、平田、渡辺、増井) Tel.03-3581-9308 Fax.03-3581-0879 E-mail volunteer.cv@mfs.cao.go.jp

イベントスケジュール

(財)まちづくり市民財団研究交流事業(市民活動を行いやすい環境づくり)
市民がつくる

三重の資金サポートシステム大発表会

- とき/6月30日(土)PM1:30~PM4:30
- ところ/三重県庁講堂(津市広明町・三重県庁となり)
- 参加費/300円(当日資料として「資金サポートシステム研究会報告書」を配付します)
- 内容/市民活動資金サポートシステム研究会では、市民自らが取組む活動が活性化しやすくするために、資金を中心とした社会的資源が活動団体に循環する仕組みを検討し、その成果を報告書

にまとめました。今回は、報告書に盛り込めなかった具体的な資金循環(資金調達)の仕組みを、お披露目すると共に、セクターを超えたパネリストによる地域づくりとNPO支援に関するパネルディスカッションを通じて、その実践の姿に迫ります。

- 申込方法/Fax、E-mailにて申込みを。参加費は当日徴収。
- 申込・問い合わせ先/特定非営利活動法人 地域づくり考房みなと(担当:辻本) Tel.0593-63-4990 Fax.0593-63-4989 E-mail tsujimoto@terakoyapro.net
- 主催/市民活動資金サポートシステム研究会、財団法人まちづくり市民財団 ●共催/三重県生活部NPO担当

誰もが知らなかった戦後の食卓史 「アメリカの小麦戦略」講演&ビデオ

- とき/7月15日(日)
- ところ/午前の部(AM10:00~正午)川越町中央公民館
午後の部(PM2:00~PM4:00)四日市市総合会館8階視聴覚室
- 参加費/前売券500円 当日券600円
- 内容/この映画を見ずして食生活も農業問題も考えることはできません。戦後の貧しい食糧事情の時代には確かにアメリカからの食糧援助が大きな助けになりました。しかし戦後目覚ましい復興を成し遂げたにも関わらず、子どもたちの給食に長い間ご飯はありませんでした。味覚形成の時期にパン食を覚えた子どもたちが増え、米離れを招き、米の消費量が激減しています。そこには、アメリカの周到な小麦戦略があったのです。これは現在の食生活や農業問題、そして学校給食を考える上でも大切な問題です。『見直せ日本型食生活』の著者・食生活史研究家鈴木猛夫さんの講演をぜひ多くの方々に聞いていただきたいと思ひます。
- 申込・問い合わせ先/512-0921 四日市市尾平町3689 特定非営活動法人フードファイター倶楽部(担当:中嶋)
Tel.0593-32-6452 Fax.0593-33-8068
E-mail ffc@passage.ne.jp

アフリカの盲児(者)のために! ～点字絵本・点字カレンダーを贈ろう～

- とき/7月19日(木)~7月31日(火)
- ところ/アスト津3F市民活動センター
- 内容/タンザニアの盲児(者)のためのスワヒリ語点訳及び援助を目的として活動しています。教科書、点字カレンダーを始めとしてピアノ、リコーダー等の楽器及び学用品や衣類等も贈っています。ぜひご来場いただき点字体験してみてください。みなさんのご参加をお待ちしています。なお、19日、25日、31日はAM10:00~PM4:00まで点字体験コーナーを開催します。
- 【展示品】スワヒリ語版の点字教科書、点字絵本(日本語版、スワヒリ語版)、2001年版点字カレンダー、アフリカから届いた点字の手紙、アフリカの様子を紹介した写真、点字板・点字タイプ・点字パソコン・点字プリンターなどの器材。
- 問い合わせ先/一志町ボランティアセンター Tel.059-295-0066
- 主催/ボランティアグループ「ジャンボの会」、「あいあい」、久居点訳グループ「虹の会」

第5回チャリティーコンサート 朝日『小さなま心広場』建設基金 ミネハハチャリティーコンサート

- とき/7月22日(日)開場PM2:00 開演PM2:30
- ところ/大安町文化会館大ホール(Tel.0594-78-3523)
- 参加費/前売り3000円 当日3500円 小学生1000円

団体割引2800円(友の会会員・老人会・社協団体も受け付けます)
●内容/ミネハハは「水」、ハハは「微笑む」の意味を持つミネハハ。全国各地で行われるコンサートでは、透明感溢れる歌声で混沌とした現代社会に生きる人々に安らぎと希望を与えています。今回のミネハハコンサートの収益金は、民間の福祉施設「小さなま心広場」(仮称)建設基金に使用させていただきます。託児もありますので、お早めにご連絡ください。

- 申込・問い合わせ先/(推進本部)委文 Tel.0593-54-4937 Fax.0593-54-5696
(員弁支部)吉村 Tel.0594-77-0626・090-8159-8301
(携帯) Fax.0594-77-0626
アンミュージックスクール(担当:遠藤) Tel.0594-77-1500
- 主催/朝日「小さなま心運動」推進本部
- 協賛/アンミュージックスクール

NPO全国フォーラム2001 東海会議

- とき/8月4日(土)AM1:00~AM6:00 懇親会PM6:30~5日(日)AM9:30~PM4:30
- ところ/名古屋国際会議場(名古屋市熱田区熱田西町1-1)
- 参加費/全日参加 10000円(宿泊、食事は含みません)、部分参加6000円(1日単位)、懇親会 4000円
- 内容/全国のNPO関係者およびNPOに関心のある方が参加対象です。オープニングフォーラムでは「協働の理念と行動」をテーマにジャスコ株式会社名誉会長の岡田卓也さんと千葉県知事の堂本暁子さんによる基調講演と、お二方による対談を行います。その後、2日間に渡り様々なテーマに分かれたセミナーと分科会を行います。また、8月3日(金)PM1:00~PM4:30にはプレ企画としてユースフォーラム「若者がつくる・支えるNPO社会」を行います。
- 募集人数/800人 ●応募締切/7月16日(月)
- 申込方法/参加申込書に必要事項をご記入の上、下記までお申し込みください。
- 申込・問い合わせ先/450-0003 名古屋市中村区名駅南1-20-11 市民フォーラム21・NPOセンター内 NPO全国フォーラム2001東海会議 実行委員会事務局
Tel.052-586-1154 Fax.052-586-1174
ホームページ <http://www.sf21npo.gr.jp/npoforum>
- 主催/NPO全国フォーラム2001 東海会議実行委員会、特定非営利活動法人 日本NPOセンター、特定非営利活動法人 市民フォーラム21・NPOセンター ●共催/愛知県、名古屋市

まるで アートの遊園地

アーティストランキャンプ2001

- とき/8月4日(土)PM12:30~5日(日)PM5:30
- ところ/芸濃町錫杖湖畔キャンプ場
- 参加費/入場のみ500円
フリーパスポート(入場+全ての講座参加費+保険料)2000円
宿泊、食事を付けることができます 費用は別途いただきます。
- 内容/都合の良い時間帯だけの参加もできます。食事や宿泊用品の持ち込みもOKです。ただし、小学生以下のお子さんだけの参加はできません。詳しくは下記までお問い合わせを。これまでの様子はホームページでもごらんいただけます。
- 【内容】パフォーマンスアート、ミュージックセッション、バンド演奏、木・金属・布・土の工作、アクセサリ作り、虫取り、バーベキューなど。
- 申込・問い合わせ先/アーティストランキャンプ事務局
Tel.059-230-1166 Fax.059-230-0434
E-mail arc_office@anet.ne.jp
ホームページ <http://page.freett.com/heroitoh/arc.htm>

ネットワークのよびかけ

MIEチャイルドライン

受け手・スタッフ募集及び講習会参加者募集

MIEチャイルドラインは、青少年による青少年のための電話です。MIEチャイルドラインとは、子どもの声に耳を傾ける電話です。お説教抜き、押し付け抜き、子ども達の声にただただ耳を傾ける、それがチャイルドラインです。くわしくは、下記へお問い合わせください。

【講習会内容】

第1回/8月11日(土)PM1:00~PM5:00

「MIEチャイルドラインとは?」

場所/アスト津3F みえ市民活動ボランティアセンター

第2回/8月19日(日)「妊娠・性病など性をトータルにとらえる」

第3回/9月8日(土)「権利意識と少年法」

第4回/9月15日(土)「チャイルドライン講義とロールプレー」

第5回/10月8日(月)「エイズの感染経路及びエイズって?」

第6回/10月13日(土)「虐待を現場から」

第7回/11月1日(木)「カウンセリングの現場から」

第8回/11月10日(土)「薬物依存」

●募集対象/受け手15歳から22歳 スタッフ12歳以上

●応募締切/7月15日(定員になり次第締切)

●講習会費用/青少年3500円 大人7000円

(第2回から8回までの通し受講費です)※第1回目の講習会は無料です。1回のみのお申し込みも出来ます(1回1500円)。

●申込・問い合わせ先/514-0002 津市島崎町132-40

特定非営利活動法人 三重県子どもNPOサポートセンター内 MIEチャイルドライン準備会 Tel.059-223-4944 Fax.059-223-3100 E-mail kodomo@aqua.familie.ne.jp

「レジ袋 ない・ない月間(今年10月)」 準備集会を開催します

三重環境県民会議では、現在の使い捨て・大量消費型の生活スタイルを見なおすきっかけとして、県民誰もが参加できる「レジ袋 ない・ない(レジ袋もらわない、なるべく提供しない)月間」を今年10月に開催します。この月間に向けて月1回準備集会を開催しますが、レジ袋だけでなく、いろんな立場からの環境に関する取り組みをご紹介しますので、どうかお気軽にご参加ください。

【第1回準備集会】

●とき/7月16日(月)PM1:30~PM3:30

●ところ/みえ県民交流センター ミーティングルーム3及び4(津駅前アスト津3階) ●参加費/無料

●内容/滋賀県から、(株)平和堂(ショッピングセンター)の総務部長、三輪益三さん及び滋賀県庁エコライフ推進課副参事、日爪泰則さんを講師に迎え、お話を聞いた後、意見交換を行います。

●申込方法/直接、会場へお越しください。

●申込・問い合わせ先/三重環境県民会議事務局(担当:川本) Tel.059-245-7512 Fax.059-245-7518

心に響くふるさと、愛の調べ 胡弓
無垢なふるさと(地球環境)と、人の愛(平和)

J・K・C活動紹介

ボランティアなど、民間の非営利団体による社会貢献活動を、支援するNPO法が制定され、当団体も認定を受けました。J・K・Cはジャパン、コリア、チャイナの頭文字で音楽を通じて、アジア近隣諸国と友好親善を深めていきたいと願っています。現在、会員を募集して

います。皆さんのお知恵とお力をお貸しください。

【活動内容】

・哀愁をおびた美しい胡弓(二胡)の演奏とコリアの歌舞を中心にあなたの町や学校で友好音楽会を開きます。

・胡弓(二胡)教室。第1・3金曜日のPM6:00からはポルタ久居

で、第2・4金曜日のPM6:00からはアスト津で開催しています。

・ハングル講座をアスト津で始めます。日本語と共通点が多く、数回の講座で大略をご理解頂けます。日時など 詳しくは皆さんと相談して決めたいと思います。

●問い合わせ先/特定非営利活動法人(NPO) JKC-art

Tel.059-293-5144 Fax.059-293-5247

E-mail koho@zvtv.ne.jp

ホームページhttp://www.zvtv.ne.jp/kouho

バリアフリーってなんですか!?

「住民と一緒にバリアフリー」

同夢は自分らしく生きることのできる環境づくりをめざしています。「バリアフリー」とは障壁を取り除くことを言います。私たちの身の回りにある「バリア」について共に考え、体験してみる場をつくりました。一緒に「バリアフリー体験」をしてみませんか。

●とき/7月15日PM1:30~PM4:00

●ところ/三重県上の森林公園研修室

●参加費/無料

●問い合わせ先/NPOバリアフリースタジオ「同夢」(代表:孫)

Tel.0595-23-9513 Fax.0595-23-9515

E-mail son@aqua.ocn.ne.jp

フリーマーケット情報

【ポルタひさいフリーマーケットの予定】

●とき/7月22日(日)AM10:00~PM3:00(雨天中止)

●ところ/近鉄・久居駅前ビル「ポルタひさい」西・南側歩道上

●問い合わせ先/小森悦司 Tel.090-5113-1114

E-mail crm2000@zvtv.ne.jp ●主催/久居フリーマーケット連絡会

【中勢フリーマーケット協会の予定】

「松阪中部台公園」

●とき/7月15日(日)AM9:30~PM3:00

●参加費/1500円(1ブース2mX2m)

※お待たせしました。毎回人気の松阪中部台公園です。今回から公園内車進入禁止となりましたので、搬入・搬出は手運びになります。

「鈴鹿弁天山公園」●とき/8月5日(日)

「松阪中部台公園」●とき/8月12日(日)

「西条中央公園」●とき/8月25日(土)

●申込方法/出店、会員申込とも、直接次の郵便振替口座に振込を。通信欄に希望ブース数、日付、場所を書いてください。

中勢フリーマーケット協会口座 00870-0-121921

●問い合わせ先/安芸郡河芸町2434-5 中勢マーケット協会

Fax.059-245-2536 Tel.(携帯)090-7027-4334

『平成13年度会員募集』

新規会員は入会金1000円と年会費1500円を振り込んでください。更新会員は年会費のみ。

みなさんへのお知らせ

【NPO担当から】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は1団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

(1) 名称、(2) 申請年月日、(3) 代表者の氏名、(4) 法人の事務所の所在地、(5) 縦覧期間、(6) 認証の種別、(7) 定款に記載された目的。

[93]

- (1) 平成13年6月4日
- (2) 特定非営利活動法人すまいる24
- (3) 城笠義幸、
- (4) 上野市緑ヶ丘南町3919番地の5
- (5) 平成13年8月4日まで
- (6) 設立
- (7) この法人は、高齢者や障害者のみならず、病気等で介護・介助・支援の必要な人々に対して、介護支援に関する事業を行い、もって地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

(平成13年5月15日から平成13年6月15日申請分)

【三重県政策広聴広報課県民の声相談室及び
三重県生活部NPO担当からのお知らせ】

「子育て環境づくり」について、話し合いませんか!

待ちの「情報公開」から、積極的な「情報提供」を必要とする時代となり、生活者起点の県政推進を掲げる三重県として、積極的な情報提供を通じて、住民参加と協働を促しながら、県政を共に考える場を提供することを目的として、バーチャル県政企画室を開設しています。これまでの一方的な情報提供を行うという考えから脱却して、ひとつのコミュニケーションの場、コミュニティの母体として位置づけています。また、電子会議室を社会的な課題解決ツールの一つとして、また、市民や市民活動団体が行政との対話をするための一つのツールとして、活用を図っています。その中での議論や成果を、三重県庁関係部局での施策反映等に役立つことができると考えています。現在、「子育て環境づくり」をテーマに会議室を開設しています。

(三重県バーチャル県政企画室 <http://www.pref.mie.jp>)
みなさんのご意見をお寄せください。

※この電子会議室は、NAVIS(NPOとボランティアに関する情報システム:<http://www.mienpo.net>)と連携したものであり、粉川一郎氏(神奈川県藤沢市民電子会議室/専門はネットワークコミュニティにおけるコミュニケーションの動態を研究、詳細は<http://homepage2.nifty.com/ichirok/>)により管理されています。

●問い合わせ先 / 政策広聴広報課県民の声相談室・落合賢司
E-mail soudan@pref.mie.jp
生活部NPO担当・長崎禎和 E-mail open@mienpo.net

助成金 ニュース

国際交流基金日米センター 一般公募助成事業 地域レベル・草の根レベルでの相互理解の推進

- 受付締切/7月1日(日)必着
(原則として、当該年10月以降翌年3月までに開始のプロジェクトを対象)
※翌年4月以降に開始されるプロジェクトを対象とする締切は12月1日(土)
- 助成の目的/日米両国の人々が、いわゆる親善交流とは異なり、共通の課題に対する取り組みを通じて、お互いに対する理解を深めコミュニケーションを拡大していくことに重点をおき、文化や社会の多様性に互いに直接ふれあい、各界各層でさらに質の高い対話が積み重ねられていくことを期待しています。
- 助成の対象となる団体/日米いずれかの国にある非営利団体(大学、研究所、図書館、NPOなど)。
- 助成の対象となる活動/原則として、以下の分野に該当するプロジェクトで、日米が共同で実施する事業とします。ただし、日米間の協力が基軸となるものであれば、そこに他の諸国・地域の関係者や団体が参加していても事業の対象とすることができます。
- (1) 市民交流プログラム…日米両国の市民が、対話を積み重ね相互理解を深めていくこと、また、共通の課題への共同の取り組みを通じて世界に貢献していくことを期待し、その趣旨に合致した草の根レベルの交流プロジェクトや一般市民への知識の普及活動を支援します。

(2) 教育を通じた相手国理解促進プログラム…日米両国間の偏りのない総合的な理解を深め、関心を高めていく中で、将来に向けた日米関係緊密化の礎となることを期待して、日本においては米国に関する、米国においては日本に関する相手国理解促進のための、初等、中等の各教育レベルを対象としたアウトリーチ(知識の普及)活動や、カリキュラム開発など、その基盤づくりを行うプロジェクトを支援します。加えて、日本の高等教育レベルを対象としたプロジェクトについては同様に支援の対象とします。

- 応募方法/ガイドライン及び申請書は下記へ申し込んでください。また応募に先立ちセンターへ事前に相談されることを希望します。
- 問い合わせ先/国際交流基金日米センター事業第2課
107-6021 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル20階
Tel.03-5562-3543 Fax.03-5562-3505
ホームページ http://www.jpf.go.jp/j/region_j/cgp_j/index.html

日韓国民交流年草の根交流事業助成

- 受付締切/7月2日(月)・9月3日(月)・12月3日(月)
- 助成の目的/2002年の「日韓国民交流年」に向けて、日韓両国のあいだの地域・草の根レベルの交流はますます盛んになっていますが、国際交流基金では、こうした地域・草の根レベルの日韓交流を支援するため、新たに「日韓国民交流年草の根交流事業助成」プログラムを設けました。
- 助成の対象となる団体/日本国内に存在する非営利団体・グループ(法人格の有無は問いません。地方公共団体および国の機関は除きます)
- 助成の対象となる活動/日本と韓国の相互理解を深め、友好親善を促進することを目的に、日本国内または海外において開催される草の根レベルの各種文化交流事業を対象とします。
- 対象事業の期間/7月2日締切分…平成13年9月～平成13年10月
9月3日締切分…平成13年11月～平成13年12月
12月3日締切分…平成14年1月～平成14年3月
- 助成の額/1件あたり50万円を上限
- 応募方法/申請書は下記に申し込むか、ホームページからダウンロード。
- 問い合わせ先/国際交流基金日韓文化交流連絡室(担当:大森) 107-6021 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル21階 Tel.03-5562-3638 Fax.03-5562-3498 E-mail jkxx@jpf.go.jp

(財)伊藤忠記念財団 子ども文庫助成事業

- 受付締切/7月21日(土)必着
- 助成の対象となる団体・個人/子ども文庫(家庭文庫・地域文庫)ないし、児童図書館およびその連合体(子ども文庫連絡会)など、児童の読書についての啓蒙、指導などを行っている民間団体または個人。
- 対象事業の期間/平成14年3月～平成15年3月に助成先が行う特定の計画が対象。助成先の経常経費に対する一般的な資金援助ではありません。
- 助成の額/総額3000万円以内。1件当たりの金額は一律とせず、50～150万円の範囲内で個別に検討。
- 応募方法/(社)読書推進運動協議会へ申請書を郵送。
- 申込先/(社)読書推進運動協議会
162-0828 東京都新宿区袋町6番地 日本出版クラブ会館内
- 問い合わせ先/(財)伊藤忠記念財団 Tel.03-3974-2650

(財)松翁会社会福祉助成金

- 受付締切/7月31日(火)
- 助成の目的/社会福祉に関する諸活動に対して援助を行い、もってわが国社会福祉の向上に寄与することを目的とし、社会福祉に関する事業、研究に対して助成を行います。
- 助成の対象となる団体/1、事業助成…原則として法人施設、団体。ただし、法人格をもたないものであっても、特に助成することにより効果が期待できる場合は対象とすることもあります。個人は除きます。
- 2、研究助成…法人施設、団体または研究グループ
- 助成の対象となる活動/1、社会福祉の向上を目的とした企画であること。2、当該案件が公の援助を受けていないこと。3、明確な企画(目的、内容、資金使途など)であること。4、先駆的、開拓的事業を優先。
- 対象事業の期間/単年度事業
- 助成の額/年間総額1000万円程度。1件あたり原則として80万円程度を限度とします。
- 応募方法/所定の申込用紙に必要事項を記入したうえ、必要書類などを添付し、下記ルートで申込。
- 1、都道府県・指定都市社協(受付)―申請団体―松翁会
- 2、松翁会(受付)―申請団体―松翁会

問い合わせ先 / (財) 松翁会事務局助成係 100-0004 東京都千代田区大手町1-5-4 大手町フィナンシャルセンター3階 Tel.03-3201-3225

(財)富士記念財団社会福祉助成金

受付締切 / 7月31日(火) 当日消印有効
助成の目的 / 社会福祉に関する諸活動に対して援助を行い、その向上に寄与することを目的として、社会福祉に関する事業・研究に対する助成を行います。主として、心身障害者(児)の福祉向上を目的として事業を展開します。
助成の対象となる団体 /
1. 事業助成...原則として法人施設・団体であること。ただし、共同作業所など法人格をもたないものであっても、助成をすることにより効果が期待できる場合は対象としますが、個人は除きます。
2. 研究助成...法人施設・団体または研究グループ。
ただし、両助成とも過去3年間に当財団からの助成を受けたところは対象外とします。

助成の対象となる活動 /
(1) 心身障害者(児)の福祉向上を目的とした企画であること。
(2) 当該案件が公の援助を受けていないこと。
(3) 明確な企画(目的・内容・資金使途など)であること。
(4) 経常的な運営費は対象外。
(5) 洗駆的・開拓的の事業を優先。
対象事業の期間 / 単年度事業。継続しての助成は行いません。
助成の額 / 1. 事業助成...年間総額3000万円程度とし、1件当たりの金額は原則として15~100万円程度を限度とします。
2. 研究助成...年間総額500万円程度とし、1件当たりの金額は原則として100~200万円程度とします。
応募方法 / 所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、定款、施設概要、事業計画書、予・決算書、見積書など必要書類を必ず添付し、下記まで郵送。なお、社会福祉協議会などのコメント欄は、当該市町村社会福祉協議会などに必ず記入してもらってください。

問い合わせ先 / (財) 富士記念財団事務局 100-0004 東京都千代田区大手町1-5-4 Tel.03-3201-2442 Fax.03-5252-8660

(社)住宅生産団体連合会 住宅関連環境行動助成事業

受付締切 / 7月31日(火) 消印有効
助成の対象となる団体 / 団体・法人。非営利組織NGO、NPO及びグループを含みます。
助成の対象となる活動 / 住宅に関連する環境対策の推進に資する次の4項目の活動。
(1) 普及・啓発の活動
(2) 調査研究の活動
(3) ハード・ソフトの技術開発活動
(4) 緑化・美化活動

助成対象事業の期間 / 平成13年9月1日~平成14年3月15日
助成の額 / 1件あたり原則として100万円を上限。
応募方法 / 下記まで所定の申請書を請求。記入後書留で送付。
問い合わせ先 / (社)住宅生産団体連合会助成事業事務局
105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-6 晩翠軒ビル4階
Tel.03-3592-6441 Fax.03-3592-6464
ホームページ <http://www.JUDANREN.or.jp/>

(財)庭野平和財団 活動助成(後期分)

受付期間 / 7月1日(日)~8月13日(月) 必着
助成の目的 / 宗教の相互理解と協力を促進するとともに、宗教的精神に基づいて平和社会実現のために積極的な取り組みを続けている人々の連携を深め、その活動を支援しようとするものです。従って、特定の宗教を支援するものではなく、諸宗教の独自性を相互に尊重しあい、寛容の精神を基本としながら、平和・共生の社会を実現することを目指したいと考えます。庭野平和財団の活動助成は宗教的精神に基づいて行われる研究や活動をその対象とし、広く社会からの参加のもとに、これを積極的に奨励していくことをその目的とするものであります。
助成の対象となる団体・個人 / 個人・団体のいずれも申請することができます。(ただし、一個人、一団体につき一件の申請に限ります) 申請者の国籍は問いません。団体の場合、法人格の有無は問いません。ただし、永続性のあることを原則とします。
助成の対象となる活動 / 宗教的精神に基づく社会活動...人間の尊厳と宗

教的寛容の精神に基づき、特定の宗教の枠を越えて展開されている平和のための教育・社会奉仕・開発協力・環境保護・人権擁護・高齢化問題への対策などの活動。また上記の活動を通して、国内外のネットワークの輪を広げ、相互理解と協力を推進する活動。

対象事業の期間 / 平成13年10月末日から1年間
助成の額 / 1件あたり上限を100万円とします。
応募方法 / 官製ハガキ、書簡、Faxのいずれかに次の事項を記入の上、申請書類を請求してください。申込の際には申請する事業の内容が「活動」であることを明記し、あわせて住所、氏名、職業、職場、研究所などまで詳しく、電話番号を明記してください。申請の際は必ず書留にて送付してください。
問い合わせ先 / (財)庭野平和財団助成係 166-0022 東京都新宿区新宿1-16-9 シャンヴィラ・カテリーナ5階 Tel.03-3226-4372 Fax.03-3226-1835 E-mail program@npf.or.jp

日本財団 アジア・フェローシップ(APIフェローシップ)

受付締切 / 8月31日(金)
助成の対象 / APIフェローシップの参加国(インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン、タイ)出身者で、かつAPIフェローシップに参加している国に5年以上継続して居住または就労していること。2002年6月から翌年5月までの期間内にフェローシップ派遣先国に出発・滞在できる者。(国籍は問いません)
【APIシニア・フェローシップ】
学術、政策研究、ジャーナリズム、ビジネス、行政、文筆、評論、芸術、財団、NGOなどの諸活動分野において現在活躍中であり、自らの専門で卓越した業績と経験をもつ者が対象。シニア・フェローには、最短1カ月から最長12カ月までの期間連続して、出身国(居住国)以外のAPIフェローシップ参加国での研究や交流活動に従事するためのフェローシップが提供されます。また、選考委員会が必要であると承認した場合、複数の国での研究が可能です。以下の事項がAPIシニア・フェローシップへの応募要件です。
・専門分野における卓越した業績と経験を有すること
・出身国(居住国)以外のアジア諸国での研究や交流活動に従事できる能力と経験を有すること
・35歳以上
・研究や交流活動の成果を広く社会に還元する能力、影響力、手段を有すること
・英語の基本的知識を有すること

【APIジュニア・フェローシップ】
ジュニア・フェローには、最短6カ月から最長12カ月までの期間連続して、出身国(居住国)以外の1カ国あるいは2カ国のAPIフェローシップ参加国において、研究や交流活動をするためのフェローシップを提供します。以下の事項を、APIジュニア・フェローシップへの応募要件とします。
・将来専門分野において、大きな貢献のできる可能性を有すること
・自国(居住国)以外のアジア諸国での研究・交流活動に従事できる能力と意欲を備えていること
・応募時に35歳未満であること(事情により例外を認める)
・英語の基本的知識を有すること

研究・交流活動テーマ / 2002年度のテーマは次の通りです。
「アイデンティティの変容とその社会的、歴史的、文化的背景」..(例)アイデンティティ形成における歴史的記憶、文化的多数派と少数派、メディアと芸術の役割、文化的多様性、ジェンダー・宗教・階級の役割など
「人類が直面する社会的課題と社会正義の考察」..(例)政治的権利の公平な分配、人間の安全保障、社会変革のマネジメント、中央と周辺、環境と人間など
「グローバル化の現状とその課題」..(例)経済統合は国家と社会にいかなる影響を及ぼすか、グローバル化と人の移動、グローバル化と国境の変容、自立の意味、文化の商品化、グローバル化時代の市民社会
応募方法 / 応募先は応募者の居住国にあるAPIパートナー機関。日本の場合は下記の京都大学東南アジア研究センターです。応募書類は「推薦状」を除いてすべて英語で作成することが求められます。京都大学東南アジア研究センターでは選考過程で重視される「企画書」をより良いものに改訂したり、英文校正のお手伝いをしてくれます。詳細は下記のホームページ参照。

問い合わせ先 / 京都大学東南アジア研究センター 606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 Tel.075-753-7348(日本語) 075-753-7165(英語) Fax.075-761-1005
E-mail api_ml@cseas.kyoto-u.ac.jp
ホームページ (日本語) <http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/api/>
(英語) <http://www.ikmas.ukm.my/api/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。 <http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。宮川村の「ホタルまつり」初代実行委員長である西さんが紹介してくださったのは、「自然の楽しさをみんなに伝えたい」と小俣町で定期的に自然観察会を開催している橋本祐子さんです。

魚採り少女が市民活動に出会う

……橋本さんは子どもの時から自然が好きだったのですか？

私は今住んでいる度会郡小俣町の明野で生まれ育ちました。この辺りは農村部で、自然と言っても山奥や大きな河、海といった特徴のある環境ではありません。遊び場と言えばたんぼや畑、それと当時は父が製材業を営んでいましたから、材木置き場になっていた庭ぐらいです。でもそこには昆虫や小さな生き物がたくさんいて、そういったものを相手に遊んできたんです。それから自然の方向へ興味に向いていったんですね。

……昆虫少女だったんですね。

昆虫少女というより、魚採り少女でしたね(笑)。近くに大仏山という小さな山があるんですが、雨が降るとそのため池から、どじょうや魚がたんぼの側溝というか、どぶに流れてくるんです。そこに入って、たもで魚をすくってました。小学校の行き帰りたんぼの小川を覗いて、魚がいるかどうか確認してました。小川といっても底や側面はすでに土ではなく、コンクリートで覆ってあったんですが、それでもメダカなどがいっぱいいたんですよ。それを見て「おるな!」と思ったら帰ってすぐに、たもを持って走り出していました(笑)。

……現在は野鳥の会など様々な団体に入って活動されていますが、それらの活動を知ったのはいつ頃でしょう？

高校の文化祭で海の博物館が行っているSOS活動(Save Our Sea)の展示を見たんです。そこに環境汚染の展示もあって、「え、こんなことがあるの。これはいかんなあ」と思ったんです。その後、大学へ進学して、後輩が世界野生生物基金(WWF)の活動をしていることを知ったので、募金活動や署名、シンポジウムをやる時には手伝ったりしました。

大仏山自然クラブ・自然ウォッチング

橋本祐子

さんに



聞く

……こちらで活動を始めたのはいつ頃ですか？

大学を卒業して、戻ってくる時にそういった活動をこちらでもできるといいなと思って、野鳥の会や動物学会に入りました。多分、動物や自然が好きなのは、環境破壊にも関心があるだろうと思ったんですね。会に入って、いろんなことを学びました。特に野鳥の会では実際に自然の中に入って野鳥観察をしますから、それを通じて自然を見る目を教えてもらいました。教そわるといっても知識を教わるのではなく、自然のなかに身を置くことでいろんなことが見えてきたんです。ゆっくり身を置いていると鳥が生きている姿が見えてきま

す。そのなかには時に理不尽なことにも出会います。例えば、たくさんの鳥が快適に住んでいて、すごく大切に思っていた場所がある日突然、ブルドーザーで壊されてしまうとか。「これって、おかしいんじゃないの?」と自分ではずっと思っていて、それを他の人にも知って欲しいという気持ちから自然観察活動を始めたんです。

自然の良さをみんなに伝える自然観察指導員

……自然観察指導員にはどうやってなるのですか？

まず、自然保護協会が開催している自然観察指導員講習会というのを受けました。この講習を受けた時に「これこそ、私がやりたかったこと」と思ったんです。それにこの時の講師がとても素敵で、私は明日からこの人に付いていこうとまで思ったんですよ(笑)。……その方がハンサムだったってことじゃないですよ(笑)。「自然の良さをみんなに伝えて、それを大事にしてくれる人を増やしていきたい」という熱意を感じたんです。

……自然環境系の言葉でインタープリターってありますよね。訳すと翻訳家となりますが、あの言葉は他の市民活動にも使える言葉だと思いませんか？

インタープリターという言葉を知ったのは最近ですが、私たちのやってきた活動は知識を教えたり、一方的に教え込むというのではなく、自然を見る目を養ってもらうことで、当人が自発的にいろんなことに気づいてもらうということですから同じですね。私はまさに気づかされた人間で、それをきっかけに今の活動をしたと思ったわけでしょう。相手にわかりやすく、かつ実行してくれるように伝えるということは自然系の活動だけでなく、あらゆる分野で必要だと思います。……今、している活動にどんな意味があり、成果を生むのかを説明することもインタープリテーションではないでしょうか？

もちろん、知識は必要ですが、知識だけを相手に伝えるのではなく、その背景にある意味や関係なども含めて伝えることが大切です。自然観察を例にとれば、なぜこの場所を使うのか、なぜここを守る必要があるのかといったことが伝わる活動にしたいと思います。

……橋本さんの活動を拝見していると、子どもにも興味を持たせるのが非常にお上手ですね。

それは大人でも同じだと思いますよ。関心を持たなかったら、知ろうとは思わないじゃないですか。単に回答をもらったり説明を受けてしまうと「ふ〜ん、なるほどな」で終わってしまうことが多いんです。特に子どもの場合は、知識を求めているわけではないんですね。例えば子どもがお花を持ってきますよね。「おばちゃん、これ何?」と言った時に「ひまわりだよ」って言うんじゃなく、「きれいな花を見つけたね、どこで見つけたの?」って聞くんです。するとその子は「あそこで見つけた」って言うでしょう。それから一緒に行って、他の子にも「Aちゃんはこの花を見つけたよ。他にはどんなのがあるか探してみよう」と言うとみんなが自発的になる…。これは別の講師の方に教わったんです。これを聞くと「うん、なるほど」と思うでしょう。……自発的に本人が関わるかということが大事なんですね。

こちらがどんなに「良い」と言っても、本人が良いと思わなければやる気にはなりません。例えば市民活動の集まりの場などへ行行って話を聞いても「私たちがやっていることが一番!」とばかりに一方的に

話されると「確かに立派だな」とは思うけれど、一緒にやろうという気持ちにならない場合もありますよね。逆に自分が関心を持っているようなきっかけをもらうことで、たまたま行っただけなのにはまっちゃったということも多いんじゃないですか。

「未来を育てる」子どもたちとの活動

……橋本さんが現在実践している活動について教えてください。まず、大仏山自然クラブですね。小俣町に戻ってきた時から私は大仏山で鳥の観察や調査をしていたんですが、その時にここは面白い、観察会をしたらいいなと思って始めたんです。第3土曜日を定例に活動しています。内容は当初はバードウォッチングや自然観察だったんですが、続けていくうちに公園の造成工事のことも関わりました。コンクリート張りの公園にするよりも、子どもたちや周辺の人々が自然に親しむ活動の場にするといいのになと思ったので、自然観察活動をする一方で県の方とお話をしたりしました。

……他にはどんな活動をしていますか？

子どもを対象にした自然ウォッチングを第2・4土曜日にやっています。始めて8年ぐらいですが当時は、一般的な自然観察会に親子で参加する人があまりいなかったんですよ。それで子ども向けの企画をすれば参加しやすいのではないかと始めてみました。誰も来なければやめればいいのかぐらいの気持ちだったんです(笑)。

「楽しいな」と子どもが思ってくれて続いていくというのは、そういう場所が欲しいと欲していることでしょ。それなら、やらなくっちゃというだけです。

……参加人数はどれぐらいですか？

いろいろですよ。0人の時もあるし、初めてホテルの観察会をした時は80人くらい来ました。「初めてホテルを見た」という大人がいっぱいいて、それを見て「あ〜、困ったな」と思いました(笑)。

……子どもの時、自分が親しんだ自然を今の子どもたちに伝えているわけですね。

自分自身がそうだったから、子どもにはそういう場があった方がいいと思うんですよ。いらないうら来ないでしょうし、「楽しいな」と子どもが思ってくれて続いていくというのは、そういう場所が欲しいと欲していることでしょ。それなら、やらなくっちゃというだけです。でも今はそういう場がたくさんできていますから、別に私がやらなくてもいいのではと思っています。市民活動は行政や企業ができない隙間を埋めたり、先駆性のある分野をフォローするものだと思います。行政が子どもの自然体験を必要だと感じて、受け皿をつくるのなら、NPOが競争しなくてもいい。その時はまた違う機能を果たすようシフトしていけばいいと思っています。もちろんいい内容であればですが、今、私はシフトしているかもしれません。ただ、子どもたちとの活動は楽しいし、お休みすると「どうして？」って電話がかかってくるので(笑)。

……発想が柔らかいですね。それが長続きする秘訣でしょうか？組織立てて、きちんとできないのです。継続しようと思えば、NPO法人とかの形になっていくんでしょうね。無理をして「明日からNPO法人！」というのは私には向いてないので、今はまだ、子どもたちが自然に親しむ場や活動が必要とされているなと感じているので、そう



自然ウォッチングの一コマ。子どもたちと一緒にどろんこになって遊びます。



子どもたちが竹の伐採にチャレンジしています。

いう指導者をたくさんつくりたいと思っています。私が子どもと活動しているのは、ちょっとオーバーな気はしますが「未来を育てている」と感じるからです。

……指導者を増やすために具体的な活動をされているのですか？子ども向けの指導員養成ではないのですが、去年は宮川流域の自然や文化の良さを伝えるインタープリターの養成を宮川川ネット事業でやりました。これは好評で、今年はインタープリター専門員において、養成が始まっています。あと、自然保護協会が開催する自然観察指導員養成のための講習会が今年三重県で行われます。……自然観察指導員講習会には講師として参加されるのですか？私はそのお手伝いと、講習会後のフォローの方ですね。2泊3日の講習を終えると受講者は「さあ、地元に戻ってやりなさい！」と放り出されるんです。なかには地域ですぐに活動できる人もいますが、逆にどうすればいいのか全然わからない人もいます。そんな人たちにアドバイスしたり、自分たちの活動に誘ったりすることを自然観察指導員連絡会というグループでやっています。私はせっかく、自然観察指導員になったのなら自分の住む地域で根付いて欲しいと思っています。私の活動に参加するのもいいのですが、その人が自分の町で活動すれば、その町の人に参加できるでしょう。そこでまた広がっていきますよ。そうなって欲しいんです。自然観察指導員の理念も「地域で活動する」ということなんです。

他のグループと共に活動する

……環境以外で興味のある分野はありますか？

最近では伊勢の伊勢河崎まちづくり衆や伊勢志摩NPOネットワークの会にも参加しています。伊勢ばりふり団の「おでかけチェアウォーカー」の取材を少し手伝いました。あと、自然観察関係では御園村で活動しているなみくれさんや玉城町のたまき自然の会と交流しています。

……いろんなグループとネットワークしているのですか。

みんなそれぞれ個人会社の社長のようなものだと思うんです。だから、何か大きなことをするには助け合わないとできない。活動を広げていくためには他の分野、他のグループに参加してもらったり、自分も参加していくことが必要だと思います。

……まちづくりの面で問題に思っていることはありますか？

公共施設のことですね。公園でもそうですが、立派な施設だけで、何のための施設かわかる人がいないという場合が多いじゃないですか。そのような人がいるか、いないかでその施設の使い方は変わります。例えばみえ市民活動ボランティアセンターには人がいて、市民活動の相談や質問があればそれに答えたり、答えられる人を紹介してくれたりしますよね。機械だとみんなに同じことしか言えないけれど、人なら相手に合わせていろんな情報を提供したり、臨機応変に話せます。それがすごく大事なことで、インタープリテーション活動に通じることです。

大仏山自然クラブ・自然ウォッチング

住所/度会郡小俣町明野 Tel.0596-23-2725

橋本祐子さんはこの人を **紹介** します。

斉藤まりこ(さいとうまりこ)さん

平成12年9月から伊勢志摩NPOネットワークの会で事務局スタッフとして活動している斉藤さん。会の情報誌である「伊勢志摩ぼんぼん通信」にはレポーターとしても活躍しています。

編集後記

今回から新コーナー「ネットワークの拠点」が始まりました。県内各地で活動している市民活動支援センターやネットワークを順次、紹介していく予定です。あなたの町の拠点も登場しますので、ご注目。

新コーナーへのご意見はもちろん、情報提供などもお待ちしております。

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。
R100 古紙100%、白色度70%の紙を使用しています。